東京芸術文化評議会 第4回江戸文化の魅力発信部会 議事概要

日 時	令和7年8月4日（月） 13：30～15：00
場 所	東京都庁第一本庁舎42階 特別会議室B
出席者	委員：青柳正規委員（部会長）、伊藤裕久委員、大石学委員、小粥祐子委員 近藤誠一委員、陣内秀信委員、千田嘉博委員、西村幸夫委員 事務局：片岡文化振興部長、石岡調整担当部長、杉山文化施設・連携推進担当部長、 伊東企画調整課長、清水調整担当課長、齊藤連携担当課長、荒木渉外担当 課長、知花魅力発信担当課長、森田文化政策担当課長 計17名
欠席者	—
議 題	1. 江戸文化の魅力の整理について
配布資料	東京芸術評議会運営要綱 東京芸術文化評議会 江戸文化の魅力発信部会 委員名簿 その他非公表
要 旨	<p>□ 議題1「江戸文化の魅力の整理」について</p> <p>事務局：江戸の文化資源の魅力の整理について、資料に基づいて説明</p> <p>委員：江戸は、江戸幕府が開かれて、江戸城を中心に、武家地や寺社地、町人地と都市が造られていった。天下普請の経過や、火事・地震など災害の影響を十分に整理・分析することが重要である</p> <p>委員：江戸は当時の国内の中心地として、歴史的な重要性のほか、技術的にもその粋を結集した建築物が造られており、各々が持つ特徴を的確に把握し、説明に厚みを持たせてほしい</p> <p>委員：江戸は社会が発展・充実する中で、様々な文化が生み出されており、江戸らしい無形の文化も上手く結びつけながら、世界に伝わる主張を検討してほしい</p> <p>委員：江戸の現存する遺構について調査・分析を突き詰め、具体的な抽出に向けた検討を深めるべきである</p> <p>意見交換の結果、江戸の文化資源について引き続き詳細の整理を進めることとなった。</p> <p align="right">以上</p>